

広島大学角筆資料研究室蔵即身成仏義訓読文稿（一）

松本光隆

広島大学角筆資料研究室に所蔵される「即身成佛義」一帖は、

縦二四・六糎、横一五・七糎の糸綴装一冊で、取り合わせの十巻章として紙帙に納められたものである。小林芳規博士の編纂になる角筆文献目録には、一五四五の番号が与えられて、江戸初期版と認定されたものである。本資料は、高野版で、本文に付刻の訓点が入っているが、その他に、江戸時代と思しき角点の書き入れと、朱点、墨点が入っている。その前後関係は、角点が入るものと認められ、角筆の仮名点、墨書の重書の部分があつて、角筆の窪みに墨液が滲んだと認められる箇所が存する。

本資料には、表紙に「沙門盛淳」、表紙見返しには「詮曰／准后宮院家／詮量院僧正」（天地逆）、共紙原表紙には「沙門盛淳」、共紙原表紙見返しに「沙門／盛淳」「天保十四辛／寅二月日／石川山／清盛求之」「教光」「教道與授之」、裏表紙には朱書にて「愛染寺」などの書入れが存しているが、記事については、未勘である。印記は、巻首に存するが印文未詳であり、巻末には「五智山」の朱印が存する。本文の欄外に「二日」「三日」等の書入れが存して、十巻章の伝授の場に関わつた資料であろうと認められるものである。

訓読文凡例

- 一、本訓読文は、広島大学角筆資料研究室蔵の即身成仏義に加えられた訓点に従つて、訓読した訓読文である。
- 一、訓読文は、本資料に加えられた角点を $\langle \rangle$ で、朱点を「」で、墨点を \diamond で包んで示し、付刻の訓点は括弧等を付さず示した。私に補つたものは、 \circ を付して平仮名で示した。
- 一、本文に異なつた読みが並記された場合は、「イ」として並記した。
- 一、声点は、符号を省略し、加点字の右下に、付刻の場合は、 \circ を付して、その他の訓点は、右に従つて、「上」「上」の \circ とくに示した。
- 一、本文の改行は、行頭字に「▲」を付して、これを示した。
- 一、本文の割書は、『』に包み、改行は「」で示した。
- 一、本文に加えられた返点は、表示してはいない。
- 一、訓読文に関する注は、本文に「*」を付して、一括して末尾に掲げた。

(二才)▲即「入」身「去」成「上濁」佛「入濁」*義「平濁」

▲問「ト」ツ「テ」曰ク諸「上」上「一」經「上」上「一」論「平」平ノ

中二皆ナ三「去」劫「入濁」不入聲濁「成」上濁「上濁」佛「入濁」ト説ク今即

「入」身「去」去「成」上濁「上濁」佛「入濁」ノ義「平濁」ヲ建立スル何

ノ憑「上」平「據」上「上」力有ル答「不入聲」秘「平」密「入」藏

「平濁」ノ中ニ如「上」來「上」是ノ如ク「イ」秘密藏中如來是「カク」如

(き)「コトヲ」答「ヲ」▲説「キ」タマフ彼ノ經「去」一「説」入

云「何」ン金「去」一剛「上濁」頂「平」經「上新濁」ニ説カク此ノ三「去」

「去」味「平」平「ヲ」修「ス」ル者ハ▲現「平濁」二佛「入濁」菩「上濁」提「上」

濁「ヲ」證「平」ス「此」平「平」一「三」去「去」味「平」ト者謂ク大

「平濁」一「日」入「一」尊「上」ノ「一」入「一」字「平濁」頂「平」輪「去」王

「上」ノ三「上」上「摩」上「地」平濁「上濁」ナリ又云ク若シ衆「上」生

「上新濁」有(り)テ此ノ教「平」二遇「平」テ晝「平」夜「平」四「平」時

「上濁」二精「去」進「平」シテ修「上」(す)レハ現「平」一世

「平濁」二歡「去」(二ウ)▲喜「平新濁」地「平濁」ヲ證「平」得「入濁」入新

濁シ後ノ十「不入聲濁」一六「入」生「上」上「二」正「平」覺「入新濁」ヲ

▲謂ク此「平」平一教「平」平トハ「者」イ、此教(と)者

法「不入聲」佛「入濁」へノ自「平濁」内「平」證「平」ノ三「平」摩「上」地

「上濁」大「平濁」教「平」平王「去」去「ヲ」指「去」ス▲歡「去」一「喜

「平濁」一「地」平濁ト「者」顯「平」一「教」平新濁「二」言(訓

「ふ)所ノ初「上」地「平濁」二八「非」入「是」レ則チ自「平濁」平

濁家「上」上「佛」入濁「一」▲乘「去濁」去濁「(の)」「之」初「上」地

「平濁」ナリ「具」ニ説クコト地「平濁」位「平」品「平」中ノ如シ十「入濁

六「入」生「上」ト者▲十「不入聲濁」六「入」大「平濁」菩「上濁」薩「入」生「上

ヲ指ス「具」ニ八地「平濁」位「平」品「平」ニ説クカ如「シ」

▲又云ク若シ能ク此(の)勝「平」義「平濁」ニ依テ修「ス」レハ現「平

濁)世「平新濁」ニ「イ、世(に)現(せ)ラレ」無「上」上「平濁」覺「入

ヲ成「上濁」(する)コトヲ得「ト」

(二才)▲又云(く)當ニ知(る)應シ「イ、應當(に)知(る)ハ

シ」「イ、應(ニ)知(る)當(シ)」自「平濁」一「身」去「即(ち)金

「去」剛「上濁」界「平」ト爲ル 自「平濁」「」身「去」金「去」剛「上濁」ト
 爲レハ「イ、爲（リヌレハ）」「イ、爲（ンヌレハ）」▲堅「去」去「去」實「去」入
 濁」ニシテ傾「去」壞「去」無シ 我レ金「去」「」剛「上濁」身「去」上「ト
 爲ル」大「平濁」日「入」經「上」ニ云ク ▲「於」此ノ身「去」ヲ捨
 テ不「去」シ「シ」テ神「去濁」「去濁」境「去」通「上」ヲ速「平」得「入」シ
 大「平濁」空「去」去「位」平「平」ニ遊「去」上「上」歩「平濁」平濁」シテ
 「而」身秘「平」▲密「入」ヲ成「上濁」ス ▲又云ク此ノ生ニ於テ悉「入」
 地「平濁」二入（ら）ント欲ハ、其ノ所「平」平「應」去「去」二隨「去」テ
 ▲之ヲ思「念」平「平」セヨ「イ、思念（す）ヘシ」親「去」リ尊「去」去「去」
 ノ所「訓」トニ於テ明「上」上「法」平「入」平「受」去「去」ケ觀「去」去「去」
 察「入」新濁」シ相「去」去「應」去「去」スレハ成「去」去「去」就「平濁」ヲ作ス
 「ト」▲此ノ經「去」二説ク所ノ悉「入」地「上濁」ト者持「上濁」上濁」
 明「上」上「悉」入「入」地「平濁」及ヒ法「平」平「入」佛「入」悉「入」地
 平濁」ヲ明ス（二ウ）▲大「去濁」空「上濁」位「平」平「ト者法」入「身
 八大「去」虚「平」平「二同」上濁」上濁」シテ「而」無「上」上「導」平濁」ナリ
 衆「上」上「象」平濁」平濁」ヲ含「去濁」去濁」シテ「イ、含」シテ「而」
 常「去濁」▲恒「上濁」ナリ 故ニ大「平濁」空「去」ト曰フ 諸「上」
 法「平」入「聲」の「之」依「上」住「平」スル所ナルカ故ニ位「平」
 ト号「去」去「入」身「去」上「秘」平「上」密「入」ト▲者法「平」入「聲」佛
 入濁」ノ三密「入」八等「平」覺「入」新濁」毛見「去」ニ難「去」夕「去」十「平」入
 聲濁」地「平濁」何ソ「去」窺「去」ハ「故」ニ身「去」秘「平」▲密「入」ト名ク又
 龍「去」猛「平」菩「上濁」薩「入」ノ菩「上濁」提「上濁」心「上」論「平」二説
 カク眞「去」言「上濁」法「入」平「入」聲濁」ノ中「二」ノ「三」即「入」▲身「去」
 去」成「上濁」上濁」佛「入」スルカ故ニ是レ三「平」摩「上」地「上濁」ノ
 法「平」入「聲」ヲ説ク 諸「上」教「平」ノ中ニ於テ闕「去」入「去」シテ「而」
 ▲書「上」上「七不」ト」是「平濁」平濁」説「入」入「三」平「摩」平「摩」上
 上」地「平濁」上濁」ト者法「入」身「去」自「平」證「平」三「平」摩「上」
 地「上濁」ナリ 諸「上」教「平」ト者（三才）▲他「上」受「平濁」用「平」
 ノ身「上濁」上濁」所説「入」ノ顯「平」教「平」新濁」ナリ 又云ク若シ
 人「去」佛「入」慧「平」ヲ求「去」テ菩「上濁」提「上濁」心「上」二通「平」
 去」達「入」新濁」レハ父「平濁」母「平」所「平」生「去」ノ身「去」去
 二「速」去「速」二「大」平濁」覺「入」ノ位「去」訓「去」ヲ證「平」ス ▲是

(の)如「ク」等ノ教「平」理「平」證「平」文「去」ニ依テ此ノ義「平」
ヲ成「去」立「上」不「入」聲「平」ス是ノ如(き)ノ經「去」論「平」ノ字「平」
無「上」邊「上」ノ德「入」響「入」ヲ顯ス「平」頌「平」一文「去」ヲ二「分」
六「入」大「平」濁「平」濁「無」上「上」導「平」濁「平」濁「ニ」シテ常「訓」ニ
瑜「上」上「上」伽「上」濁「上」濁「ナリ」體「平」四「平」種「平」曼
「去」茶「上」濁「各」ノ離「レ」不「相」▲三「去」密「入」加「上」
持「上」濁「(す)レハ速「入」入「疾」入「入」ニ顯「訓」ル「用」重
重「上」濁「帝「平」網「去」(の)コトクナルヲ即「入」身「去」ト名
(つく)『無導』(三ウ)▲法「不」入「聲」然「去」二薩「平」般「去」若「平」
ヲ具「平」濁「足「入」入「シテ」心「去」去「數」(平)濁「平」濁「心「去」
去王「上」上「剎塵」去「去」二過(き)タリ▲各ノ五「平」濁「平」濁「一
智「平」濁「無「上」際「平」智「平」濁「ヲ具「平」濁「ス圓「去」鏡「平」力
「入」ノ故「二實」入「入」濁「覺「入」響「智「平」濁「ナリ『成佛』
釋「シテ」曰ク此ノ二「平」濁「一頌「平」濁「八「入」句「平」濁「ヲ以テ
即「入」身「去」成「上」濁「佛「入」濁「ノ四「平」濁「字「平」濁「ヲ歎「去」去「ス
即于「是」ノ▲四「平」濁「字「平」濁「二無「上」邊「上」ノ義「平」濁「ヲ含「去」
其ノ義「平」濁「也」彼ノ種「平」濁「子「平」濁「眞「去」言「上」濁「二曰ク

澤セリ一「入」切「平」ノ佛「入」濁「法「不」入「聲」八此ノ一「入」句「平」濁
出テ不「故」二略「入」シテ兩「上」上「上」濁「ノ樹テ、
無「上」邊「上」ノ德「入」響「入」ヲ顯ス「平」頌「平」一文「去」ヲ二「分」
ツ初ノ一「入」濁「平」濁「八即「入」身「去」ノ▲二「平」濁「字「平」濁「ヲ歎「去」
去シ次ノ一「入」濁「平」濁「八成「去」濁「佛「入」濁「ノ兩「上」上「字「平」濁「ヲ歎「去」
ス初ノ中二又四「ア」リ初ノ一「入」句「平」濁「ハ(四才)▲體
二二八相「平」濁「三二八用「平」濁「四二八無「上」上「導「平」濁「ナリ後(ノ)
頌「平」濁「ノ中四有リ初二八法「不」入「聲」佛「入」濁「ノ▲成「去」濁「佛「入」
濁「ヲ擧ケ「濁」次二八無「上」上「數「平」濁「ヲ表「上」上「シ三二八
輪「去」圓「上」上「ヲ顯「シ」後二八所「平」濁「由「上」上「ヲ出ス謂ク六
入「大」濁「ト▲者五「平」濁「大「平」濁「ト及ヒ識「入」ナリ大「平」濁「日
入「經」二謂フ所ノ我レ本「平」濁「不「上」上「生「上」上「ヲ覺「平」濁「リ▲語「平」濁「
言「去」ノ道「平」濁「ヲ出「入」濁「過「平」濁「シ諸「上」上「過「平」濁「解
「平」濁「脱「入」濁「スルコトヲ得「於」因「去」縁「上」上「ヲ遠「平」濁「
離「上」上「セリ空「去」八虚「上」上「空「上」上「二等「シト知ル是レ

其ノ義「平」濁「也」彼ノ種「平」濁「子「平」濁「眞「去」言「上」濁「二曰ク

其ノ義「平」濁「也」彼ノ種「平」濁「子「平」濁「眞「去」言「上」濁「二曰ク

其ノ義「平」濁「也」彼ノ種「平」濁「子「平」濁「眞「去」言「上」濁「二曰ク

其ノ義「平」濁「也」彼ノ種「平」濁「子「平」濁「眞「去」言「上」濁「二曰ク

▲^レ凡^レ平^レ (上濁) 一^平 (平輕) 疾^疾 (上) 去^疾 (平輕) 爲^レク阿^上 字
「平濁」諸「上」法「不入聲」本「平」不^上 生^上「ノ」(四ウ)▲義「平濁」ト
者即^レ于^レ是^レ地^{平濁}「一」大^{平濁}ナリ 縛^{上濁}「上濁」(一)字「平濁」
離^上「上」言^{上濁}「上濁」說^{上濁}「入新濁」トイハ之ヲ水^上「去」大^平「平濁」
ト謂フ 清^去「一」淨^{平濁}▲無^上垢^平塵^{去濁}ト者是^レ則^レ于^レ羅
「上」字「平濁」火^平大^{平濁}「ナリ」[也] 因^去業^平「不入聲濁」不^上
可^平得^下卜^去者^去詞^上字^{平濁}門^上風^去大^{平濁}也^平等^平
虛^上「上」空^上「上」卜^去者^去欠^去字^{平濁}ノ字「平濁」相^平即^上
于^去空^去大^{平濁}(なり)▲「也」我^平「平濁」「一」覺^去「上」卜^去者^去識^上
大^{平濁}ナリ 因^去「去」位^平「平」二八識^去卜^去名^去ケ 果^平「一」位^平
「平」二八智^平卜^去謂^去フ 智^平即^去于^去覺^去「音」入^去ナルカ▲故^去二梵^平
濁^上「一」音^去ノ * (平濁)「上濁」(平濁)「平濁」(平濁)「去濁」(去濁) α (ハ)
一^入「上」字^{平濁}(一)「之」轉^平「平」ナリ α「上濁」(平濁)「上濁」(平濁)「上濁」(平濁)
ハ)▲覺^去「入」「ト」名^去ケ α「平」「ハ」智^平「ト」曰^去フ
故^去二諸^上「上」經^上「上」中^平二謂^去フ 凡^去「平」功^去「入」^平 天^去「去」親^{上濁}「上濁」等^平「平」八三^去「去界^{上濁}「平新濁」唯^去
輕^平「上濁」(去濁)「去濁」(去濁) α (ト)(五才)▲者^去古^去訓^平クハ遍^平

「去」心「上」ヲ以テ唯識「入」ノ義「平濁」ヲ成「去濁」立「不入聲」
 「ヒ」一「入」切「平」衆「上」生「上新濁」器「平」界「平」等「平」ノ
 入自「平濁」餘「上」八上ノ説「入」二同シ「濁」又大「平濁」日
 入經「上」二云ク我レ即チ心「去」位「平」二同「上濁」ナリ「イ
 同入」一「入」切「平」處「上」二自「平濁」在「平濁」ニシテ普ク「於」
 種「平」種「平新濁」ノ有「平」情「上濁」及ヒ非「上」情「上濁」二遍「平
 聲」セリ ▲列「上」阿字「平濁」八第「平濁」一「入」命「平」ナリ「上濁」
 縛「上」字「平」ヲ名「け」テ水「上」ト爲「ス」一「上」羅字「平濁」ヲ名
 「け」テ火「平」ト爲「ス」應「平」許字「平濁」ヲ名「け」テ風「去」ト爲「ス」
 依「上」法字「平濁」ハ虚「上」空「上」二同シ此ノ經「去」文「上」ノ
 ▲初ノ句「平」二我「平濁」即「入」同「去濁」心「上」位「平」
 卜者謂ハ所ル心「去」ハ則チ識「入」智「平」(なり)「也」後ノ五「上」
 濁(六才)▲句「平」(は)即是五「平濁」大「平濁」ノ中ノ三「去」句「平」
 者六「入」大「平濁」ノ自「平濁」在「平濁」ノ用「平」無「上」導「平濁」ノ
 ▲徳「入」ヲ「イ」徳「ト」ヲ「表」(す)般「去」若「平」經「上」及ヒ
 瓔「上」路「上」入「平濁」等「平」二亦六「入」大「平濁」義「平濁」ヲ説ケ
 是ノ如「(ク)」ノ六「入」大「平濁」能ク一「入」切「平」ノ佛及「表」
 入「上」諸「上」法「不入聲」者心「去」法「不入聲新濁」ナリ 法「不入聲」
 衆「上」トヲ生「去」ス及ヒ人「去」尊「上」「毛」亦夕然ナリ
 (六ウ)▲衆「上」生「上新濁」器「平」世「平」界「平」次「平」第「平濁」
 ニシテ「而」成「去濁」立「不入聲」ス生「去」住「平濁」平
 濁等「平」ノ諸「上」法「不入聲」▲常「去濁」恒「上」シテ是ノ如
 ク生「去」ス
 ▲此ノ偈「平濁」ハ何ノ義「平濁」ヲ力顯「平輕」現「平濁」スル 謂ク六
 (入)大「平濁」能ク四「平」種「平」法「入」身「去」ト曼「去」▲茶
 羅「上」ト及ヒ三「去」雙點 種「平濁」世「平」間「去」雙點 トヲ
 入「上」大「平濁」能ク一「入」切「平」ノ佛及「表」
 入「上」諸「上」法「不入聲」者心「去」法「不入聲新濁」ナリ 法「不入聲」

相〔平〕ト者色〔入〕▲法〔不入聲〕ナリ 復次〔マクシ〕二諸〔上〕「」法〔不入聲〕
 トイハ通〔去〕名〔上〕ヲ舉ク〔濁〕 法〔不入聲〕相〔平〕ト者差〔上〕別〔入〕
 ヲカ顯ス 故〔下〕ノ句〔平〕ニ▲「云」諸〔上〕佛〔入濁〕聲〔去〕〔去〕
 聞〔上〕〔上〕ノ縁〔上〕覺〔入濁〕菩〔上濁〕薩〔入〕〔入雙點〕衆〔上〕
 生〔上新濁〕器〔平〕世〔平〕間〔去〕次〔平〕第〔平濁〕「二」而〔上〕〔上〕〔七〕
 才〕▲成〔上濁〕〔上濁〕立〔不入聲〕〔七〕云〔去雙點〕フ 復次〔マクシ〕〔に〕諸〔上〕
 法〔不入聲〕ト者法〔不入聲〕曼〔去〕茶〔上濁〕羅〔上〕法〔不入聲〕相〔平〕ト
 者二〔平輕〕昧〔上〕耶〔上〕▲身〔上〕ナリ 諸〔上〕佛〔入濁〕乃〔去〕至〔平〕
 衆〔上〕生〔上新濁〕ト者大〔平濁〕曼〔去〕茶〔上濁〕羅〔上〕身〔上〕ナリ
 器〔平〕世〔平〕界〔平〕〔ト〕者所〔平〕依〔上〕〔上雙點〕ノ土〔平濁〕ヲ▲
 表〔上〕〔上雙點〕ス 此ノ器〔平〕界〔平〕ト者二〔平輕〕〔平輕〕〔上〕昧〔上〕〔上〕
 耶〔上〕曼〔去〕茶〔上濁〕羅〔上〕之惣〔平〕〔平〕名〔上〕〔上〕〔なり〕
 ▲〔也〕 復次〔マクシ〕二佛〔入濁〕一菩〔上濁〕一薩〔入〕二〔平〕一乘〔去濁〕ト者智〔平〕
 「」正〔平〕覺〔入新濁〕世〔平〕間〔去〕ヲ表〔上〕ス 衆〔上〕生〔上新濁〕ト
 ▲者衆〔上〕生〔上新濁〕世〔平〕間〔去〕ナリ

注

- 一才1 義一コノ字ノ下朱書「サ口_ト」一「口成就ノ義」(補入)シ「チ」一覺ノ義」(補入)「ラ」ダ「ア」ラ「此ニ云義ト也」(補入)書入。
- 4 金一右傍朱書「一字頂輪王儀軌」書入。修一右傍墨假名「口ス」未詳。
- 5 ノ一コノ下ニ墨仮名「ヲ」アリ。又一右傍朱書「三尸地儀軌 流通ノ文」書入。ノ一附刻訓點「ノ」ヲ朱書抹消。
- ウ3 歡一右傍墨假名ニ「新ノ、ノ古、ノ」加點アリ。
- 6 又一コノ字ニ朱庵點、上欄外朱書「二日」書入、右傍朱書「觀智儀軌」書入。
- 二才1 又一右傍朱書「三尸地儀軌正宗ノ文」書入。
- 2 大一右傍朱書「經三品六疏十二」書入。
- 4 又一右傍朱書「經七不思議疏上」、墨書「眞言學處品 一生成仏科」書入。
- 二ウ1 大一コノ字ノ墨濁點ハ漢字右邊中央ニアリ。濁點力。
- 2 恒一右傍墨書「法身有無尋包含常住三極」書入。
- 三才1 說一コノ字ノ下ニ補入符アリテ右傍墨書「諸口」書

入。

通一コノ字ニ墨去聲點アリテ墨書ニテ抹消セリ。

2 所一右傍ニ墨假名「ヲン□□」アリ。

3 如一コノ字ニ庵點アリ。

5 伽一コノ字ニ墨濁點アリ。

ウ3 ヲ一コノ附刻假名朱書ニテ抹消。

4 出此一句一コノ四字ノ字間中央ニ墨書「」アリ。

6 四一コノ字ノ附刻假名「ヨリ」ノ「ヨ」ヲ朱書ニテ

「ア」ニ訂セリ。

四才2 成一上欄外朱書「四日」書入。

謂一コノ字ニ庵點アリ。

3 大一右傍朱書「經二品二疏六」書入。

ウ一附刻假名「フ」ヲ墨書ニテ訂ス。

4 過一右欄外朱書「□菩提実義ヲ成仏也」書入。

ウ3 大也一コノ二字墨書合點アリ。

四ウ4 ウ一附刻假名「フ」ヲ墨書ニテ訂ス。

5 ㄱ一右傍朱書「没駄冒地」書入。

ㄱ一節博士ノ加點アリ。

6 ウ一附刻假名「フ」ヲ墨書ニテ訂ス。

ウ一附刻假名「フ」ヲ墨書ニテ訂ス。

五才4 又一右傍朱書「三产地儀軌」書入。

ウ1 セリ一コノ假名ニ「、」點アリ。

2 又一右傍朱書「經五品十六疏十七」書入、左傍墨書

「阿闍梨眞實智品」書入。

3 有一右傍角筆某書入アリ。

六才2 徳一上欄外朱書「五日」書入。

如一コノ字ニ庵點アリ。

3 器一右傍角筆某書入アリ。

4 故一右傍朱書「經五秘密万夕ラ品第十一」書入。

6 救一左傍墨書「疏牒文諸佛聲聞及諸縁覺救世菩薩勇

進如佛亦然」書入。

ウ5 次一右傍二角筆書入アリ。未詳。

別一右傍二角筆書入アリ。未詳。

七才1 羅一右傍二墨書書入アリ。未詳。